

第1学年 生活科学習指導案

- 1 日時 令和5年10月13日(金) 第6校時
- 2 場所 1年生教室
- 3 学年 第1学年 男子5名 女子3名 計8名
- 4 単元名 「あきとなかよし～あきのたからものをつかってつくろう!～」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、毎日元気いっぱい、身体を動かす活動や、ものづくりをすることが好きである。また、生活科に対する意欲が高く、「〇〇がしたい!」とやってみたいことを伝えたり、「こうした方がいいかな。」と活動に進んで参加し、試行錯誤したりする姿がよくみられる。春には、学校の校庭や学校の周辺にある春を探しに出かけ、植物や動物への関心を高めるとともに、暖かな春の様子を楽しんだ。また、「げんきにそだてわたしのはな」の単元では、一人一鉢の朝顔を育て、種から芽、芽から蔓が伸び、花が咲いて枯れ、また種ができるといった変化を観察しながら、季節の移り変わりを感じていった。それから、7月から8月にかけて実践した生活科「なつとなかよし」の単元では、シャボン玉づくりをした際、体を大きく動かしてシャボン玉を作ったり、創意工夫しながらシャボン玉の道具を作ったりすることを、楽しそうに、進んで行っていた。また、自分の意見を伝えたい気持ちを強く持っており、授業の中で意見交流の時間を取ると、積極的に発表する姿が見られる。一方で、勝敗のつく活動で負けたり、自分の思うようにできなかつたり、苦手な問題に直面したりした時に、活動に継続して参加することが難しいことがある。

話し合いでは、4月当初よりも、自分の思いを順序立てて伝えたり、理由を付けて発表したりすることができるようになってきた。一方で、まだまだ気持ちを上手く言葉にできなかつたり、相手の意見を受け入れられなかつたりするため、児童の意見を代弁しつつ、話すときや聞くときの手本を提示しながら話し合いを進めていく必要がある。

本学級の児童に、アンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		2学期			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	6	1	0	1
2	友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。	7	1	0	0
3	「たぶんこうではないかな。」「こうすればできるのではないか。」と考えています。	6	0	1	1
4	課題をとくために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。	6	1	0	1
5	相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。	7	1	0	0
6	調べたことや考えたことなどを、絵などにまとめています。	6	0	1	1
7	調べたことや友達の意見を比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	6	2	0	0
8	友達と話し合うなどして、新しい考えに気付くことができています。	7	0	0	1
9	自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。	6	1	1	0
10	自分の考えを進んで伝えていきます。	6	0	1	1

11	みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくろうとしています。	7	1	0	0
12	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」や「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	7	1	0	0
13	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	7	1	0	0
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	6	2	0	0

これらの実態から、活動を短く区切り、身体を動かしながら試行錯誤する機会を設けたり、児童の思いを丁寧にくみ取りながら話し合いをしたりすることが必要であると考えます。また、思いを表現する機会を十分取ることも考えられる。

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の内容（５）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。」及び（６）「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」を受けて設定したものである。内容構成としては、「カ 情報と交流」「ケ 遊びの工夫」の視点を踏まえて構成している。

生活の中で見つけた秋を振り返り、校庭や学校周辺の自然と触れ合い、遊ぶ活動を繰り返し行うことを通して、課題発見力秋の特徴や季節の変化、自然遊びの面白さに気付くことができる。また、相手に応じて遊びを試行錯誤し、困ったこと等を友だちに相談したりアドバイスをしたりする活動を通して、課題解決力他者と関わり合いながら、問題を解決したり、工夫したりする力を高めることができる。それから、活動を通しての気付きやできるようになったこと、他者と交流して考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどの振り返りを行い交流することで、振り返り力自己評価したり、相互評価したりする力を高めることができる。

○指導観

指導に当たっては、児童一人一人が秋の自然を楽しみ、その素晴らしさを感じられるようにすることと、児童の思いや願いに沿った活動を行うことを心がけていきたい。

第一次では、登下校時の植物や動物の様子で気付いたことを交流した後、秋の自然物を見つけ、集める探検に出かける。そこでは、身の回りにある秋や、自然の様子が夏から変化していることを感じられるようにしたい。

第二次では、まず、木の実や葉などたくさん集めた秋の自然物を並べたり、触ったり、音を出してみたりして遊び、素材と関わり、特徴に気付けるような機会を設定する。その中で、比較したり、分類したり、何かに見立てたりしている姿を取り上げて、価値づけしていきたい。ここから、自然物を使って遊ぶ活動の延長で、おもちゃ作りや飾り作りへと移行していくことで、児童の思いや願い、思考の流れに沿った活動展開になるようにする。それから、どんなものを作りたいか決め、おもちゃや飾りなどを作成していく。その際、児童が自分の力でおもちゃ等を作成していく中で出てくるであろう「困ったこと」や「分からないこと」を拾い上げ、必要に応じてペアやグループで相談する時間を設けたい。

第三次では、どうしたらよりよいおもちゃや飾りになるかを考え、改善させていく。活動の中で、「誰かに遊んでもらいたい」等の願いが出てきたら、遊んでもらう相手をどうするか話し合いを行う。そして、「相手に楽しんでもらえるか」という観点を踏まえて、再度おもちゃや飾りを作成する。

第四次では、おもちゃや飾りで遊ぶ時間を設ける。遊ぶ時間や場などに関しては、児童の意見を基に

決めていきたい。最後に、単元全体を通してできるようになったことや成功したこと、もっとこうしてみたかったことなどを振り返り、交流することで、自分の成長や課題に気付けるようにする。さらに、振り返ったことを紙などに書き、形に残しておくことで、今回の学習で学んだことを想起しながら、3学期にある「ふゆとなかよし」の活動を行えるようにする。

全体を通して、したことだけを振り返るのではなく、活動を通しての気付きやできるようになったこと、他者と交流して考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどの視点で振り返りを行っていきたい。

課題発見力	身近な自然物を使ったおもちゃを題材とし、自然物の特徴に目を向けさせる。
課題解決力	おもちゃを改良する案を考え、交流をし、協働的に解決させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りを行ったり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

6 単元の目標

○身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができその面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができる。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	自分のまわりから不思議を見つける。
課題解決力	自分の考えをもって表現することができる。
振り返り力	できたこと、わかったことを振り返ることができる。

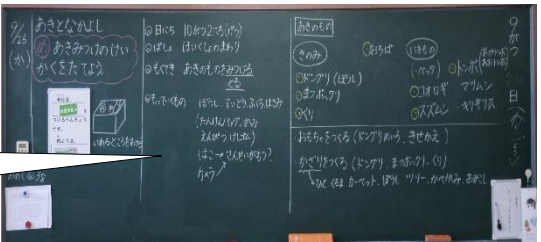
8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校でつきたい資質・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然の特徴や四季の変化に気付いている。 自分なりの見通しを持って、秋の動植物の探し方や見つけ方に気付いている。 遊びの楽しさや、遊びを工夫したり遊びを創り出したる面白さに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を比較、分類、見立てるなどして、秋の自然物の特徴に応じた遊びを考えている。 身近にある自然物を利用したおもちゃや飾りを試行錯誤しながら工夫して作っている。 身近な自然の中から遊びを考えたり、遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を生かして、遊んだり飾ったりする物を繰り返し作ろうとしている。 自分が気付いたことや調べたことやしたこと、遊びを工夫したり友だちと関わって遊んだりしたことを、言葉や絵や文章など自分なりの方法で振り返っている。

9 単元におけるルーブリック（思考・判断・表現）

A	B	C
作りたいおもちゃや飾りを工夫してつくったり、友だちの工夫を見つけたりすることができる。	作りたいおもちゃや飾りを工夫してつくることができる。	作りたいおもちゃや飾りを工夫してつくることができない。

10 学習過程ごとの主な学習活動と評価規準（全18時間）

次	主な学習活動	評価（評価方法）
一 （三時間）	<p>【小単元の目標】 秋を探しに行こう。 校庭や学校の周辺など、身近な自然を観察することを通して、季節の変化に気付き、秋の自然物への興味・関心が高められるようにする。</p> <p>○秋のものを想起する。 学習の見通しを立てる。 探検に必要なものを確認する。①</p> <p>思い：早く秋見つけに行きたいな。</p> <p>夏の探検を思い出しながら必要なものを考えました。</p> <p>○秋探しに出かける。 身近な自然を見つけ、自然物を集める。②</p> <p>思い：夏と秋は違うな。面白いな。</p> <p>落ちていた物がいっぱいあるね。</p> <p>集めたもので秋の宝箱を作ったよ。色々な秋を詰め込んだら、いい感じ！</p>	<p>【知】 秋の自然の特徴や四季の変化に気付いている。（発言・振り返り）</p>  <p>【知】 自分なりの見通しを持って、秋の動植物の探し方や見つけ方に気付いている。（発言・振り返り）</p> <p>夏にはなかったね。</p> <p>コスモスじゃない？</p> <p>見てみて！でっかい落ち葉があったよ！</p> <p>木の下を見たらたくさんあるね。</p>

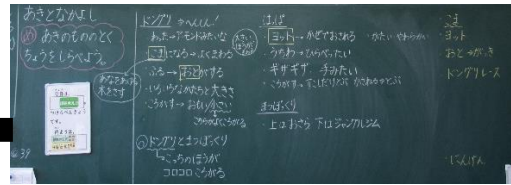
【小単元目標】 秋のもので遊ぼう。

秋の自然物を使って遊ぶ中で、素材の特徴や面白さに気付けるようにするとともに、工夫しておもちゃや飾りを作ることができるようにする。

- 秋の自然物を使って遊ぶ。
- 作りたいおもちゃや飾りを考える。①

思い：葉っぱがパリパリしているな。
おもちゃや飾りが作れそうだな。
どんなものがつくれるかな。楽しみだな。

【知】 秋の自然物を比較、分類、見立てるなどして、秋の自然物の特徴に応じた遊びを考えている。（課題発見力）（行動・振り返り）



どんぐり（こまになる。よく回る。ふると音がする。いろいろな形と大きさがある。転がすと、小さい方がよく転がった。どんぐりと松ぼっくりだったら、どんぐりの方がよく転がった。）
はっぱ（ヨットになる。風で押される。平べったいから、うちわになる。ギザギザしていて、手みたい。転がすと、少しだけとぶ。重ねたら、もっととぶ。）
松ぼっくり（上はお皿で、下はジャングルジムみたい。）

こま・ヨット・楽器・どんぐりレース・人間などの飾りが作れそう！！

- おもちゃや飾りをつくる。④（本時3/4）

思い：上手いかないな。
どうしたらいいのだろう。

【思】 身近にある自然物を利用したおもちゃや飾りを試行錯誤しながら工夫して作っている。（発言・振り返り）

【主】 秋の自然物を生かして、遊んだり飾ったりする物を繰り返し作ろうとしている。（行動・振り返り）



どうしたらもっと楽しくなるかな。



紙にアドバイスを
書いて伝えよう！



物の置き方やテープのつけ方を変えてみよう。



友だちに遊んでもらったり、友だちがアドバイスをくれたりして、考えが広まったよ。
材料や作る方法を変えてみたら、もっと楽しいおもちゃになったよ。

材料を変えたらどうなるかな。

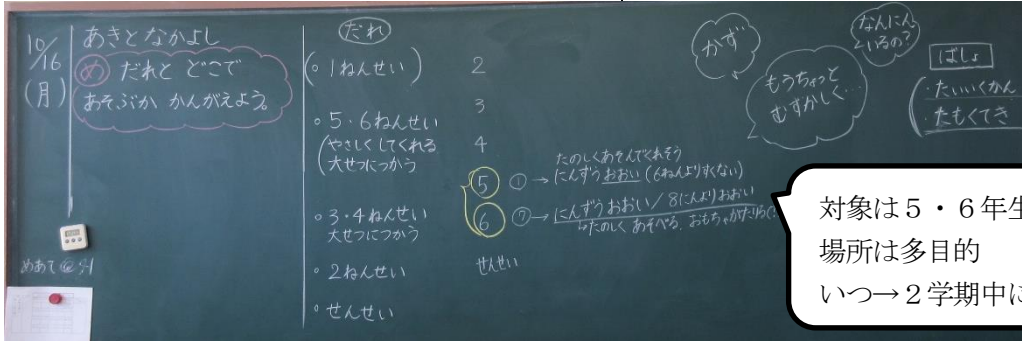


【小単元の目標】よりよい（相手に合った）おもちゃや飾りを作ろう。
 試行錯誤しながらよりよいおもちゃや飾りを作ることができるようにする。

○秋祭り（仮）の計画を立てる。①

思い：いつ、どこで、誰のためにするのか
 かな。

【思】身近な自然の中から遊びを考えたり、
 遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫したりしている。（発言・振り返り）



対象は5・6年生
 場所は多目的
 いつ→2学期中に決定！

○相手意識を持っておもちゃや飾りを改善する。
 ④

思い：5年生・6年生だったら、この方が楽しめるかな。

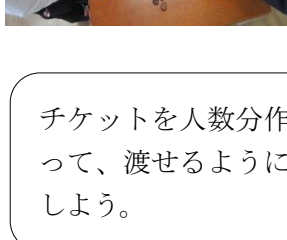
【知】遊びの楽しさや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。（発言・振り返り）

【思】身近な自然の中から遊びを考えたり、遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫したりしている。（課題解決力）（発言・振り返り）

三
 (五時間)



どんぐり滑り台の滑り台は、もっと長くとした方が面白いよ。



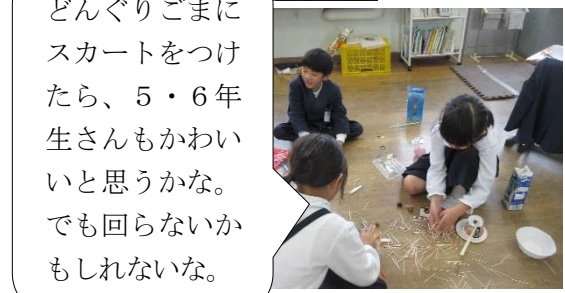
チケットを人数分作って、渡せるようにしましょう。



釣りのひもは、長い方が5・6年生さんにはやりやすいのかな。・・・あれ。長すぎると釣れないな。どうしよう。



ちょっと入れるのが難しいけん玉も作ってみよう。



どんぐりごまにスカートをつけたら、5・6年生さんもおもしろいと思うかな。でも回らないかもしれないな。



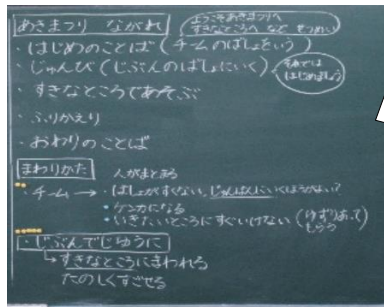
秋の物を使った景品を渡したら、喜んでくれるかな。

☆相手意識を持つことで、相手が遊んでいるときや、景品やチケットを渡すときなどの姿を思い浮かべながらおもちゃを工夫して作成していた。

【小単元の目標】 秋祭り（1年生）を開こう。
自分たちが作ったおもちゃや飾りを用いて、相手に楽しんでもらえるように工夫しながら仲良く遊ぶことができるようにする。

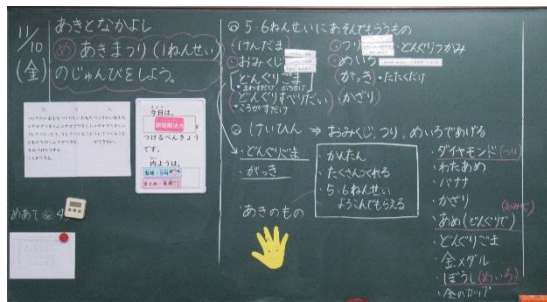
○秋祭り（1年生）の準備をする。①

思い：招待状を書きたいな。
どこにどの遊びのコーナーを作ったらいいかな。



秋祭りの流れや5・6年生の会場のまわり方などを決めた。

【思】 身近な自然の中から遊びを考えたり、遊びの約束やルールなどを考え、楽しく遊べるように工夫したりしている。（発言・振り返り）



○秋祭り（1年生）を行う。③

思い：楽しんでもらえるといいな。

【知】 遊びの楽しさや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。（発言・振り返り）

四（五時間）

【5年生（秋祭り一回目）】



ドキドキ。きちんと説明できるかな。



どの長さを選んでもオッケーです。

※5年生ふりかえりより
・5年生が喜んでくれて嬉しかった。
・いろいろな人が来てくれてよかった。
・次はもっと大きな声でおもちゃの説明や景品渡しをしたい。
・自分の担当の仕事をしっかりやりたい。

ふりかえたことをいかして・・・。

【6年生（秋祭り二回目）】



あ～！はずれた！

もう一回引いていいですよ。

秋祭り全体を通して

☆一回目の反省を生かし、声を大きく出したり、より喜んでもらえるように、相手がゲームを達成できるよう工夫したりする姿が見られた。

☆五年生と六年生からは、「秋の物を使って色々なおもちゃを作っていて面白いと思った。」「おもちゃを工夫して作っていてよかった。」などの感想をもらった。

☆秋の自然物により親しみを感じることができていた。

○単元全体を振り返る。①

思い：秋の自然のことを前より知ることができたよ。

冬の自然も楽しみだな。

☆景品の帽子を早速被ってくれています。
(5・6年生両方とも。)



なかなか入らないな。

(入りやすいところにどんぐりを置いて) もう一度どうぞ!

【主】自分が気付いたことや調べたことやしたこと、遊びを工夫したり友だちと関わって遊んだりしたことを、言葉や絵や文章など自分なりの方法で振り返っている。(振り返り力) (発言・振り返り)

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

身近にある自然物を利用したおもちゃや飾りを試行錯誤しながら工夫して作ることができる。

(2) 本時の評価規準





身近にある自然物を利用したおもちゃや飾りを試行錯誤しながら工夫して作っている。


(3) 準備物

〔指導者〕 ワークシート、秋の自然物（松ぼっくり、どんぐり、枯れ葉など）、ガムテープ、セロテープ、タコ糸、きり、穴あけパンチ、割り箸、牛乳パック、紙コップ、画用紙、ペットボトル、箱、爪楊枝

〔児童〕 設計図、はさみ、のり、筆記用具

(4) 学習の展開 (7/18時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◆支援を要する児童への配慮)	評価 (評価方法)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p>	<p>・どんぐりを使ったおもちゃや飾りを作ることを確認する。</p>	
<p>あそんで、アドバイスをして、くふうしてつくろう。</p>		
<p>2 友だちにおもちゃや飾りで遊んでもらう。</p> <p>【釣り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく（磁石が）つく。 ・（磁石の）裏側で釣るのが難しい。 <p>【どんぐりごま】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく回すために力がある。 ・勝負できる台が欲しい。 ・爪楊枝がすぐとれる。 <p>【どんぐりつかみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりをつかめたら嬉しい。 ・どんぐりがすべりやすい。 ・箸をもっと太くしたらいい。 ・箸の先にテープを貼ったらいい。 <p>【おまんじゅう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに入れている。 ・入れるものを増やしたらいい。 <p>【おみくじ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当たりを見つけるのが楽しい。 ・当たりをもっと増やしたらいい。 	<p>・友だちとおもちゃを交換して遊び、気付いたことや困ったこと、アドバイスを作成者に伝える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">遊んでみる</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">アドバイスを書く</p>	
<p>3 感想や困ったこと、アドバイスを交流する。</p>	<p>・困ったことや難しいことなどを伝えさせ、どうしたらよいのか全体で考えさせる。</p> <p>◆実際に前に出て試してみたり、タブレットで撮った写真を提示し、指し示しながら説明したりさせることで、言葉で伝えるこ</p>	

<p>4 交流したことを踏まえて、再度おもちゃや飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんが言っていたことをしてみよう。 ・もっと丈夫に作りたいな。  <p>再度おもちゃを作る。</p> <p>5 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをもらえてよかった。 ・さっきよりも上手くできたよ。 ・もっと面白くしたいな。 	<p>とが難しい児童も伝えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の合間で児童の工夫を紹介し、作成するときのヒントになるようにする。 ◆手先が不器用な児童には、側について支援を行ったり、友だちに助けを求められるように声掛けをしたりする。 ・おもちゃや飾りを試すことができるスペースを作ることで、より造りを工夫できるようにする。 <p>・本時の学習を振り返らせ、次時に期待を持たせる。</p> <p>・ループリックをふまえた振り返りにさせる。</p>	<p>☆身近にある自然物（どんぐり）を利用したおもちゃや飾りを試行錯誤しながら工夫して作っている。（発言・振り返り）</p>
---	---	--

1 2 板書計画

10/13

め あそんで、アドバイスをしてくふうしてつくろう。

A	B	C
つくりたいおもちゃやかざりをくふうしてつくったり、ともだちのくふうをみつけたりすることができ	つりたいおもちゃやかざりをくふうしてつくること	つくりたいおもちゃやかざりをくふうしてつくること

①めあてのかくにん
②ともだちのおもちゃであそぶ
③きづき・こまったこと・アドバイスをたてる
④ともだちのいけんをきいてつくる
⑤ふりかえり

きづき・こまったこと・アドバイスなど

つり

- ・うらがわでつるのがむずかしい。
- クリップをもっとつける。
- 裏側にも磁石をつける。

どんぐりごま

- ・つまようじがすぐとれる。
- テープやボンドでとめる。

どんぐりつかみ

- ・はしをもっとふとくする。
- ・はしにテープをつける。

おまんじゅう

- ・ものを増やす。

おみくじ

- ・あたりをもっとふやす。